

議会報告会 会場報告書

担当班： 1 班 班代表者：向井

概要			
地区名 : 雲部地区 日時 : 令和 5 年 5 月 19 日 (金) 19 : 30 ~ : 21 : 00 場所 : 雲部公民館 参加人数 : 12 人(男 11 人・女 1 人)	【出席議員】	(1) 開会あいさつ : 向井 (2) 議会報告 : 小島 (3) 質疑応答 : 小島・足立 (4) 意見・提言等 : 向井・足立 (5) 閉会あいさつ : 足立	挨拶・総括 : 向井 司会進行 : 足立 報告 : 小島 記録 : 栗山 山田 会場 (マイク) : 荒木

【主な質疑】

質疑・意見	回答
新設予定の今田こども園の場所はどこか。	今田支所の近くの駐車場になっているところです。
オーガニックビレッジ宣言とはどういうことか。またその手法は農産物価格に反映されるのか。市は特産物の施策をしっかりと考えてほしい。有機農法などの新しいやり方は具体的な手法をしっかりと行政が指導し、相談にも乗ってほしい。	この宣言は、国が進めるみどりの食料システムに基づき、市としても有機農業を推進していきます。具体的な計画は今後、担当課によって示されます。
令和 5 年度当初予算規模 230 億円のうち、公債費が 20 億円となっているがなんのことなのか。議会でもよくチェックしていただきたい。	企業債などの借入金を返済するときの元本と利息です。
(2 部 担い手不足について) ・地域全体に人が少なくなっている。観光や人寄せ的な一時的なものでは	議会として共有させていただきます。

<p>なく、人を増やす方法が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊は、私益ではなく、地域のために人口を増やすアイデアや工夫を持った人に来てほしい。 ・都会へ出た子が帰ってこない。今、ここで子育てをしている人たちの子供も同じことになるのではないか。 ・集落や様々な会の役員をずっとやらなくてはいけないことや、田畑にしばらくられることから解放された暮らし方を考えるなど、別の視点から考えていくのはどうか。 ・老人会でも役員のみ手がない。今年、東本庄の老人会は解散した。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域に住み続けるためにはまずは交通をどうにかしてほしい。 ・高齢の単身者は一人でバスに乗るといことが困難になってくる。バスは本数が少なく交通手段が不便、生活に欠かせない買い物や通院などに行けないとなると、人は住めない。 ・有償運送は制約が多く、結果として地域の要望に沿っていないことが多いと感じる。 ・バスは誰も乗車していないのでやめ、タクシーにしてはどうか。高齢者も、今まで車の維持費がかかっていた分を、タクシー代に変えてお金を出し、市として補助してはどうか。 	<p>今年度、有償運送や公共バスを含めた交通について抜本的に見直す予定です。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・集落に空き家があっても、所有者がなかなか貸してくれない。リフォームの負担を貸し手と借り手のどちらが負担するのか明確にすべき。 ・地域おこしといった意味合いから、里山工房くもべに店舗を開いた。外部の人に、地域を知ってもらうことが重要と考えている。移住希望の人が、「空き家はないですか」と尋ねて来られることが増えている。地元の情報はどこに尋ねれば分かるのか。 	<p>空き家推進委員が各集落に1名、まち協にも委員がおられます。市としても積極的に調査し空き家情報を集めています。積極的に空き家情報を集めている地域では、移住者が増えているのも確かですので、是非、地域で空き家推進委員活動を担っていただき、地元の情報を集めて頂くことをお願いしたいと思います。</p>